

Good Job
グッドジョブ!!
現場で働くプロに聞く!!

保育士

Childcare Worker

名前

かとう ありさ
加藤 安里紗 さん(下原)

勤務先

町立第1 保育所

職歴

9年

町立第1保育所に勤務する保育士の加藤安里紗さん。現在3・4歳児クラスの担任で26人の子どもたちを受け持っている。そんな加藤さんが保育士になろうと思ったきっかけは中学校の先生だそう。

「子どもと触れ合える学校の先生にアコがれて、私もこんな仕事ができたら」
高校卒業後、保育士の国家資格取得のため短大に進学。そこで改めて保育士の魅力を発見できた。

「周りに小さな子どもが全然いない環境で育ったので、短大の授業や実習で子どもに触れて初めて『保育士ってこんなに楽しい仕事なんだ』と実感しました。実際保育士として働き始めたら、もう楽しいすぎて楽しすぎて。こんな楽しい仕事があるんだなって」

保育士が天職と満面の笑みで話す加藤さんだが、命を預かる仕事ということは忘れたことはないという。
「子どものケガが一番怖いですね。どんなにしっかりと見ていてもハッとすることがあります」

色々なスポーツや体を動かす遊びを、伸び盛りの時期にたくさん経験してもらいたいと加藤さんは続ける。「ケガをさせてはいけないと思って過保護になりすぎ

ると、色々なことを学ばなければ子どもから奪ってしまふことになると思います」
誰しも初めてすることに失敗やケガはつきもの。その経験を通して成長する子どもたちの大切な学習の機会をたくさん与えてあげたい想いがある。

「そこで大きいケガや事故の発生を未然に防ぐことが保育士の力量ですね」

保育所での成長は保護者の人たちは見ることができないので、そのことを伝えてよるこんでもらえることも保育士の魅力という。「保護者と一緒に子どもの成長を喜べる関係性を築いていければ」と話す。

「子どもたちは毎日違う表情を見せてくれます。毎日が新鮮で、まったく飽きない職業ですね。どんどん成長していく子どもたちを一番近くで見られるところも魅力。その成長のお手伝いができる人が保育士です」

そう言うてニッコリ笑う加藤さんは「人が好きという。今後も保育士として続けていくうえで目標をこう掲げた。

「保護者から子どもからも安心できる、信頼できると思われる先生になりたい」
今日も加藤さんはやさしい笑顔で子どもたちの成長を見守っている。



笑顔で子どもたちと関わっているかたわらでは、個人の記録を記入したり、年間、月間の保育計画を作成する。保育士は1日の業務で事務も多く、毎日1～2時間分の事務量があるそう。